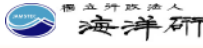


# ブルーアース 2014 簡易プログラム～第1日目～

2014年2月19日(水)

会場:東京海洋大学 品川キャンパス 主催:  海洋研究開発機構

## ●開催挨拶

10:00-10:10

海洋研究開発機構 理事長 平 朝彦

## ●口頭発表A会場 白鷹館1階

### セッション1: QUELLE2013その1(10:10-12:10)

座長:北里 洋(海洋研究開発機構) (航海番号)

BE14-01 西澤学(海洋研究開発機構)・島伸和(神戸大学)・中村謙太郎(東京大学) (YK13-02,03)

QUELLE2013航海報告-Quest 1:インド洋

BE14-02 北里洋(海洋研究開発機構)他 (YK13-04)

YK13-04 Iata-piuna 航海報告:南大西洋の地質と生物多様性

BE14-03 高井研(海洋研究開発機構)他 (YK13-05)

「よすか」「しんかい6500」によるカリブ海中部ケイマンライズ

深海熱水域 調査航海(YK13-05)の概要報告

BE14-04 石塚 治(産業技術総合研究所)他 (YK13-08)

フィリピン海テクトニクス復元による伊豆小笠原マリアナ島弧

基盤解明-YK13-08航海-

BE14-05 小原 泰彦(海上保安庁)他 (YK13-08)

南部マリアナ前弧しんかい湧水域の潜航調査速報

昼休み 12:10-13:10

ポスターセッション 会場:白鷹館2階13:10-14:40

### セッション2: QUELLE2013その2(14:45-16:00)

座長:藤倉 克則(海洋研究開発機構) (航海番号)

BE14-06 野牧 秀隆(海洋研究開発機構)他 (YK13-09,12)

深海平原は沈降有機物フラックスが支配する世界なのかを検証

する西太平洋縦断調査&amp;実験-YK13-09,YK13-12航海概要-

BE14-07 北里 洋(海洋研究開発機構)他 (YK13-10)

YK13-10航海報告:トンガ海溝ホライゾン海淵における海溝生態系

BE14-08 道林 克禎(静岡大学)他 (YK13-10)

YK13-10トンガ海溝調査:しんかい6500による地質調査と地形判読

BE14-09 土田 真二(海洋研究開発機構)他 (YK13-11)

北部ケルマディック島弧およびレイビル海山列において発見された

海山生物群集-YK13-11航海報告

BE14-10 塩見 慶(宇宙航空研究開発機構)他

GOSATデータを用いた大気-海洋間の炭素収支推定のための

船舶による全球CO2濃度観測 (QUELLE2013全航海)

### セッション3:「ポスト・クベレ2013」インド洋研究を考える(16:05-16:35)

座長:高井 研(海洋研究開発機構)

BE14-11 高井 研(海洋研究開発機構)

「ポスト・クベレ2013」インド洋研究を考える

【課題紹介】

(提案者)沖野 郷子(東京大学)、島 伸和(神戸大学)、森下 知晃(金沢大学)

中川 聡(北海道大学)、中村 謙太郎(東京大学)、川口 慎介、渡部 裕美、

高井 研(海洋研究開発機構)

### セッション4:東北マリンサイエンス拠点形成事業(16:40-17:10)

座長:藤倉 克則(海洋研究開発機構) (航海番号)

BE14-12 坂本 泉(東海大学)他

岩手県沿岸域で見られる海底地形および津波堆積物の特徴

BE14-13 藤原 義弘(海洋研究開発機構)他 (NT13-21)

瓦礫はどうなったか?～東北マリンサイエンス拠点形成事業概報

## ●挨拶

(17:10-17:20)

海洋研究開発機構 研究担当理事 白山 義久

## ●懇親会

会場:食堂 (17:30-19:30)

## ●口頭発表B会場 楽水会館1階

### セッション5:熱帯大気海洋相互作用(10:10-10:40)

座長:茂木 耕作(海洋研究開発機構) (航海番号)

BE14-14 名倉 元樹(海洋研究開発機構)他 (MR05-03)

赤道インド洋表層の東西ジェットの力学

BE14-15 城岡 竜一(海洋研究開発機構)他 (MR13-03)

PALAU2013集中観測でみられた西部熱帯太平洋域における

季節内変動

### セッション6:北極海大気海洋相互作用(10:45-12:00)

座長:西野 茂人(海洋研究開発機構)

BE14-16 猪上 淳(海洋研究開発機構)他 (MR13-06)

「みらい」北極航海(MR13-06)におけるチャクチ海定点観測

:ラジオゾンデ観測網の強化実験(ARCROSE2013)

BE14-17 川口 悠介(海洋研究開発機構)他 (MR13-06)

「みらい」北極航海(MR13-06)チャクチ海定点観測:乱流観測に

よる海洋混合層の発達過程と鉛直熱輸送に関する研究

BE14-18 西野 茂人(海洋研究開発機構)他 (MR13-06)

「みらい」北極航海(MR13-06)におけるチャクチ海定点観測

:大気イベントに対する海洋環境の変化

BE14-19 堀 正岳(海洋研究開発機構)他 (MR13-06)

「みらい」北極航海MR13-06において観測された海面水温と

AMSR2衛星によって推定された海面水温との比較

BE14-20 伊東 素代(海洋研究開発機構)他 (MR13-06)

北極海パロー海底谷における流量、淡水、熱輸送量

昼休み 12:10-13:10

ポスターセッション 会場:白鷹館2階13:10-14:40

### セッション7:海洋物質循環(14:45-15:30)

座長:植木 巖(海洋研究開発機構) (航海番号)

BE14-21 青山 道夫(気象庁 気象研究所)他 (MR11-08)

栄養塩標準を使用したこの11年間の「みらい」航海の高精度で比較

可能性が確保されたデータを基準とした全球栄養塩データセット

BE14-22 勝又 勝郎(海洋研究開発機構) (MR03-K04)

太平洋子午面循環に必要なエネルギー

BE14-23 本多 牧生(海洋研究開発機構)他 (MR12-02,MR11-05)

東京電力福島第一原子力発電所事故由来の粒状態セシウムの

沈降速度

### セッション8:島弧(15:35-16:35)

座長:石塚 治(産業技術総合研究所) (航海番号)

BE14-24 島 伸和(神戸大学)他 (YK10-10,YK10-15,YK99-11)

南マリアナトラフ背弧海盆の海底拡大系における地球物理学調査

BE14-25 佐藤 壮(海洋研究開発機構)(KR12-10, 11-08, 10-10, 09-09,

地震探査による日本海東部の地殻構造と背弧拡大過程 KY09-06)

BE14-26 田村 芳彦(海洋研究開発機構) (NT13-12)

マリアナ弧火山フロントの地殻構造とマグマ

BE14-27 植田 勇人(弘前大学) (KR13-14)

小笠原弧大町海山における露頭への再訪と新たな変成岩試料

(KR13-14航海速報)

### セッション9:海底流体湧出域の総合調査(16:40-17:10)

座長:山本 啓之(海洋研究開発機構) (航海番号)

BE14-28 山下 聡(北見工業大学)他 (NT13-20)

オホーツク海網走沖でのガスハイドレート調査(NT13-20)

BE14-29 川口 慎介(海洋研究開発機構) (NT11-16,NT12-06)

掘ったらどうなった?伊平屋北熱水域におけるIODP掘削事後調査が

明らかにしたこととその意味するところ

## ●ポスターセッション

会場:白鷹館2階(13:10-14:40)

BE14-P01 植木 巖(海洋研究開発機構)他

ADCP中層係留に使用するシタクティックフォームの浮力計測

BE14-P02 川口 悠介(海洋研究開発機構)他

「みらい」北極海航海MR13-06における漂流ブイを用いた北極海の

渦・海洋循環に関する研究

BE14-P03 藤原 周(国立極地研究所)他

チャクチ海生物学的ホットスポットにおける底層溶存酸素濃度と

基礎生産量の関係

BE14-P04 池上 隆仁(九州大学)他

西部北極海季節海水域における放散虫群集の季節変動

BE14-P05 大島 和裕(海洋研究開発機構)他

ラジオゾンデ集中観測と複数の大気再解析データによる北極海上の

大気鉛直プロファイルの比較

BE14-P06 稲垣 孝一

(株式会社グローバルオーシャンディベロップメント)

「みらい」新シーロメーター ～雲の連続観測と性能評価～

BE14-P07 喜多村 稔(海洋研究開発機構)他

西部北太平洋における動物プランクトン群集中の福島原発由来

放射性セシウムの水平分布

BE14-P08 金子 亮(東京大学大気海洋研究所)他

パイロシケニングによる西部北太平洋時系列観測点K2, S1

における細菌群集動態の解析

BE14-P09 仁田原 翔太(東京薬科大学)他

北西太平洋に分布するマンガンクラストの微生物群集の比較

BE14-P10 田角 栄二(海洋研究開発機構)他

巨大地震による深海底生態系への微生物学的影響評価

BE14-P11 平井 美穂(海洋研究開発機構)他

堆積物表層における硝化菌・嫌気的アンモニア酸化菌の分布と

化学環境

BE14-P12 美野 さやか(北海道大学)他

深海底熱水活動域に生息する化学合成微生物の分布様式と

集団構造の解明

BE14-P13 宮崎 淳一(海洋研究開発機構)他

熱水チムニーにおける微生物による水素消費活性の算出

BE14-P14 志鷹 和奈(北里大学)他

深海由来真菌類からの生理活性物質の探索

BE14-P15 松永 茂樹(東京大学)他

宮古曾根で採取したカイメンに含まれるがん細胞増殖抑制物質

BE14-P16 吉成 麻有(北里大学)他

化学合成生態系再現水槽中の微生物学的多様性解析

BE14-P17 長井 裕季子(海洋研究開発機構)他

硫化水素添加水槽を用いたシロウリガイ飼育に向けて

BE14-P18 杉村 誠(新江ノ島水族館)他

長期飼育下におけるシロウリガイ類の行動観察の試み

BE14-P19 北嶋 円(新江ノ島水族館)他

飼育下で観察されたユメオキヤドカリ属の宿替え行動について

BE14-P20 中嶋 亮太(海洋研究開発機構)他

潜水調査船の映像データを用いたベントス個体数の定量評価

BE14-P21 根本 卓(新江ノ島水族館)他

相模湾の潜水調査で見られた深海生物とその生息分布

～KO-OHO-O航海の生物学的まとめ～

BE14-P22 平岡 礼島(海洋研究開発機構)他

熱水性甲殻類エンセイオハラエビは何をみている?

～視覚器官の構造と光受容遺伝子の同定～

BE14-P23 土田 真二(海洋研究開発機構)他

大室ダシにおいて発見された浅海性熱水噴出孔生物群集

BE14-P24 安田 なつみ(奈良女子大学)他

餌量の違いが深海性ハダカエボシの生活史特性に及ぼす影響

BE14-P25 河戸 勝(海洋研究開発機構)他

熱海沖鯨骨域に蟻集したホネクイハナムシ類およびイガイ類に

おける多様性および共生

BE14-P26 藤原 義弘(海洋研究開発機構)他

QUELLE2013ブラジル航海における世界最深鯨骨生物群集の発見

BE14-P27 河西 なつみ(海洋研究開発機構)他

鯨骨産二枚貝ヒラノマクラ鯨からの共生従属栄養細菌培養の試み

BE14-P28 井川 かなえ(東京海洋大学)他

シマイシロウリガイ共生菌の伝達様式の解明

BE14-P29 深沢 佑樹(山梨大学)他

深海生のキヌタレガイ類とハナシガイ類の分子系統的解析

BE14-P30 吉田 尊雄(海洋研究開発機構)他

NT13-06 初島沖・熱海沖航海概要:深海生物の共生・寄生・

糖鎖資源開発・蛍光撮影技術開発を目指して

BE14-P31 古島 靖夫(海洋研究開発機構)他

深海生物の蛍光撮影技術の開発

BE14-P32 小栗 一将(海洋研究開発機構)他

岩手県大槌沖海底における長期時系列環境モニタリングについて

BE14-P33 飯島 さつき(東海大学)他

唐丹湾における津波起源堆積物の特徴

BE14-P34 八木 雅俊(東海大学)他

唐丹湾および越喜来湾に発達する津波起源凹凸地形の特徴

BE14-P35 横山 由香(東海大学)他

広田湾における表層堆積物から見た津波起源堆積物の特徴

BE14-P36 仁田 彩(山口大学)他

東日本大震災後の宮城県沖水深1000m海底地形と地質構造

BE14-P37 藤井 美南(山口大学)他

2011年東北地方太平洋沖地震後に採取された表層堆積物の分布

と特徴

BE14-P38 武林 仁樹(神戸大学)

福島県相馬沖での地殻構造調査

BE14-P39 後藤 忠徳(京都大学)他

沖縄沖伊平屋北海丘熱水噴出地域における海底地球物理調査

BE14-P40 藤岡 換太郎(神奈川大学)他

相模湾から得られた新知見とその解釈

—KO-OHO-O航海の地質学的まとめ—

BE14-P41 西川 徹(海洋研究開発機構)他

水族館・博物館との連携による広報活動の実践

～KO-OHO-Oの会のあゆみと日本の三大深海湾への展開～

BE14-P42 久松 和恵(海洋研究開発機構)他

第15回「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」体験乗船

BE14-P43 前田 和宏(海洋研究開発機構)他

東北海洋生態系調査研究船「新青丸」の建造



## ●口頭発表A会場 白鷹館1階

## ●口頭発表B会場 楽水会館1階

セッション10: JAMSTECフリートピックス2014

会場:A会場(10:00-10:30)

座長: 田代 省三(海洋研究開発機構)

BE14-30 橋本 菊夫、小椋 徹也、本田 悠介(海洋研究開発機構)

セッション11: より良い課題提案書の書き方

会場:A会場(10:35-10:55)

道林 克禎(静岡大学)、竹内 章(富山大学)

大型研究航海の実施について(説明会)

会場:A会場(11:00-12:00)

昼休み 12:00-13:00

ポスターセッション 会場: 白鷹館2階13:00-14:30

セッション12: 地震津波観測システム(14:35-15:35)

座長: 高橋 成実(海洋研究開発機構) (航海番号)

BE14-31 川口 勝義(海洋研究開発機構)他 (KY13-08, NT13-14)

地震津波観測監視システムDONET2の構築

BE14-32 横引 貴史(海洋研究開発機構)他 (NT13-14)

ROVによる海底ケーシング設置技術の開発

BE14-33 荒木 英一郎(海洋研究開発機構)他 (KR13-17)

DONET・南海長期孔内観測システムと制御震源を用いた地殻構造

時系列観測の試み

BE14-34 浜野 洋三(海洋研究開発機構)他 (KR13-09)

ベクトル津波計リアルタイム観測のための水中音響通信試験と

ウェーブライダーの実海域長期運用

セッション13: 地震発生帯Ⅰ(日本海溝)(15:40-16:55)

座長: 池原 研(産業技術総合研究所) (航海番号)

BE14-35 小平 秀一(海洋研究開発機構)他 (KR13-11)

海溝域での巨大地震性滑りの実態解明: 成果と計画

BE14-36 川村 喜一郎(山口大学)他

かいこうが見た地震前の日本海溝の詳細な地形・地質

BE14-37 中村 恭之(海洋研究開発機構)他 (KR11-E03)

東北沖日本海溝における反射法探査ー反射断面に見られる特徴ー

BE14-38 金松 敏也(海洋研究開発機構)他 (NT13-19)

日本海溝における地震性堆積物の探査: NT13-19次航海成果報告

BE14-39 藤江 剛(海洋研究開発機構)他 (KR13-12)

日本海溝を横断する OBS 構造探査

セッション14: 地震発生帯Ⅱ(南海トラフ)(17:00-17:45)

座長: 中西 正男(千葉大学) (航海番号)

BE14-40 山野 誠(東京大学地震研究所)他 (KY13-16)

紀伊半島沖～四国沖南海トラフ底の熱流量分布

ー沈み込む四国海盆の地殻構造との関係ー

BE14-41 池原 研(産業技術総合研究所)他 (KY13-17)

四国～紀伊半島沖海底堆積物による地震発生履歴の解明の可能性

BE14-42 岩井 雅夫(高知大学) (KY13-17)

古地震記録計としての孤立閉鎖斜面海盆: 南海トラフ土佐湾海盆

セッション15: 海洋(微)生物の生理・生態Ⅰ(14:35-15:35)

座長: 小島 茂明(東京大学) (航海番号)

BE14-43 布浦 拓郎(海洋研究開発機構)他 (YK11-E03)

日本海溝横断調査から見た海溝生命圏の成り立ち

BE14-44 原田 哲夫(高知大学)他 (MR13-03)

外洋棲ウミアメンボ3種の低温耐性及び西部熱帯太平洋定年点生息密度

と温度の2008年と2013年間同時期比較

BE14-45 渡邊 俊(日本大学)他 (NT13-11)

ニホンウナギの産卵行動観察のための新しい試み

BE14-46 田中 克彦(海洋研究開発機構)他

BISMaL Mapper を用いた海洋生物の分布推定

セッション16: 海洋(微)生物の生理・生態Ⅱ(15:40-16:55)

座長: 大越 健嗣(東邦大学) (航海番号)

BE14-47 瀬尾 芳輝(獨協医科大学)他 (NT13-06)

MRI法による深海性二枚貝の外殻膜腔水流の可視化

BE14-48 小山 純弘(海洋研究開発機構)他 (KY11-01)

ITO電極基板を用いた効率的な環境微生物の回収法

BE14-49 小林 英城(海洋研究開発機構)他 (KR13-10)

小笠原海溝由来超深海性ヨコエビの採取とセルラーゼの検出

BE14-50 大関 泰裕(横浜市立大学)他 (NT13-06)

深海動物にガラクトース含有糖タンパク質を見出した

BE14-51 齋藤 洋昭(中央水産研究所)他

脂質分析による化学合成生態系の解明: ナギナタシロウリガイに付着

するイソギンチャクの脂肪酸組成

セッション17: データ・サンプル管理の現状と今後

(17:00-17:45)

座長: 伊勢戸 徹(海洋研究開発機構)

BE14-52 中野 幸彦(海洋研究開発機構)他

新しく生まれ変わった堆積物コアデータベース”COEDO”の紹介

BE14-53 富山 隆将(海洋研究開発機構)他

新GANSEKI: 新機能を活かすデータ管理

BE14-54 仲村 亮(株式会社マリン・ワーク・ジャパン)他

GODACにおける深海映像データベース運用の変遷

## ●ポスターセッション 会場: 白鷹館2階(13:00-14:30)

BE14-P44 竹谷 文一(海洋研究開発機構)他

西部北太平洋における大気微量成分の現場測定

BE14-P45 青池 寛(海洋研究開発機構)他

南海トラフIODP Site C0002での黒潮観測

BE14-P46 堀井 孝憲(海洋研究開発機構)他

ADCPの長期観測から明らかになった東部赤道インド洋の

南北流とその季節・経年変動

BE14-P47 長谷川 拓也(海洋研究開発機構)他

「みらい」MR13-03航海におけるUnderwayCTD試験観測結果

BE14-P48 内田 裕(海洋研究開発機構)他

西部北太平洋底層の高温・低塩化

BE14-P49 福田 美保(独立行政法人 放射線医学総合研究所)

西部北太平洋における福島第一原子力発電所由来の放射性

セシウム濃度分布および経年変化

BE14-P50 谷 健一郎(海洋研究開発機構)他

大東海嶺中軸部における超苦鉄質岩の発見と大東海嶺群の

構造発達史に関する新知見

BE14-P51 山口 正視(千葉大学・真菌医学研究センター)他

深海微生物の細胞構造から探る生物進化

BE14-P52 小西 正朗(北見工業大学)他

シロウリガイ類の生育環境の調査

BE14-P53 井上 広滋(東京大学大気海洋研究所)他

シンカイヒバリガイ類のヒポタウリン蓄積機構: NT11-09とその後の展開

BE14-P54 Frederic Sinniger Harii(海洋研究開発機構)他

Metazoan communities in deep-sea sediments around Japan: a case

study on deep-sea metagenetics

BE14-P55 一瀬 建日(東京大学地震研究所)他

「ふつうの海洋マントル」プロジェクトによって明らかになった

海洋マントルの構造: 序報

BE14-P56 馬場 聖至(東京大学地震研究所)他

ふつうの海洋マントルの電気伝導度(第二報)

BE14-P57 三浦 誠一(海洋研究開発機構)他

IODPプロジェクト関連調査: 関東アスベリティ・プロジェクトおよび

プロジェクトIBM -KR13-07航海-

BE14-P58 芦 寿一郎(東京大学)他

熊野沖巨大分岐断層における湧水変動観測と強震動変形堆積物を

用いた断層活動履歴の推定

BE14-P59 仲西 理子(海洋研究開発機構)他

構造研究に基づく南海トラフ域の3次元速度構造モデル

BE14-P60 山下 幹也(海洋研究開発機構)他

高知沖における高分解能反射構造イメージング-KY13-11航海報告-

BE14-P61 山本 富士夫(海洋研究開発機構)他

種子島沖泥火山群の高解像度地形・地質調査

BE14-P62 藤原 泰誠(岡山理科大学)

沖縄トラフ海底熱水域の熱水性鉱石中の重晶石のESR年代測定

BE14-P63 市原 寛(海洋研究開発機構)他

日本海東部における海底・陸上電磁気観測

～背弧ダイナミクスの解明を目指して～

BE14-P64 佐藤 智紀(海洋研究開発機構)他

マリアナ弧南サリガン海底火山2010年噴火地点の潜航調査結果

BE14-P65 多和田 美紀(琉球大学)他

南部マリアナトラフのウラシマサイトにおける海底熱水系

の地球化学的研究

BE14-P66 佐野 守(日本海洋事業株式会社)

船舶および潜水船で取得されたSBPデータ処理

BE14-P67 富士原 敏也(海洋研究開発機構)他

AUV計測による海底地形データを用いた船観測による海底地形変動

推定の空間分解能評価

BE14-P68 野 徹雄(海洋研究開発機構)他

日本海における地殻構造探査研究の最近の成果と今後の展開

BE14-P69 浅田 美穂(海洋研究開発機構)他

続報, 東北沖での海底地形調査

BE14-P70 宇佐見 和子(産業技術総合研究所)他

NT13-19次航海において採取された日本海溝陸側斜面堆積物の特徴

BE14-P71 中村 恭之(海洋研究開発機構)他

宮城・岩手沖日本海溝海溝軸近傍における高分解能反射法地震探査

BE14-P72 山本 揚二郎(海洋研究開発機構)他

東北地方太平洋沖地震震源域の地震波速度構造と地震活動

BE14-P73 長田 幸仁(東北大学災害科学国際研究所)

海底測地観測を用いた巨大地震発生域の固着回復過程の解明

BE14-P74 山本 正浩(海洋研究開発機構)他

深海用水銀センサーの開発

BE14-P75 福場 辰洋(海洋研究開発機構)他

多成分計測に基づく熱水活動探査手法の検証と沖縄トラフと論海穴

及び伊良部海丘における探査結果速報

BE14-P76 Painumgal Viswambharan Unnikrishnan

(東京大学生産技術研究所)他

音響厚さ計測と3D画像マッピングを用いた、拓洋第五海山における

マンガンクラストの調査手法に関する研究

BE14-P77 宮崎 剛(海洋研究開発機構)他

資源探査に向けた新たなROV「かいこう Mk-IV」の開発

BE14-P78 石橋 正二郎(海洋研究開発機構)他

衛星通信ネットワークを組み込む無人探査機CPUシステム

BE14-P79 荻堂 盛誉(株式会社 マリン・ワーク・ジャパン)他

「深海映像・画像アーカイブス(J-EDI)」の全潜航のアノテーション付き

映像・画像の公開と今後の展開

BE14-P80 伊藤 雅士(日本海洋事業株式会社)他

船舶取得重力データの処理と結合

BE14-P81 南澤 智美(日本海洋事業株式会社)他

公募航海における取得データ(船舶・潜水船・ROV等による)の

乗船研究者向け提供サービスの向上について

BE14-P82 渡会 勇太(日本海洋事業株式会社)他

可搬式MCSシステムの運用実績および今後の課題

BE14-P43 前田 和宏(海洋研究開発機構)他

東北海洋生態系調査研究船「新青丸」の建造

## ●若手ポスター表彰者授賞式 および 海洋研究推進委員会委員長ご挨拶 (17:45-17:55)

海洋研究推進委員会 委員長 小池 勲夫